

GREEN RADER

全農長野県本部情報
／グリーンレーダー

2022 VOL.523

12



A-Policy【重点事業方針】

生活部 燃料・ホームエネルギー課の取組み 生活部 生活課の取組み

A-Reports

- ・「第44回長野県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」開催 03
- ・第75回長野県畜産共進会肉豚の部 04
- ・野菜・きのこ・ヨーグルト、一緒に食べて腸活
「秋冬野菜×ヨーグルトでおいしく腸活 冬を乗り切る!」 05
- ・第32回テレビ信州「キッズRUN!!2022」 06
- ・量販向けコギク出荷反省会を開催 07
- ・JR北新地駅地下道で、初の農産物即売会 07
- ・県内の大学生協で2回目の食育ランチ 08
- ・農林水産祭「実りのフェスティバル」で長野県産農産物をPR 08
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・今月のおすすめレシピ 10
- ・12月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



料金メニュー（従量電灯Bの場合）

JAでんきの料金体系

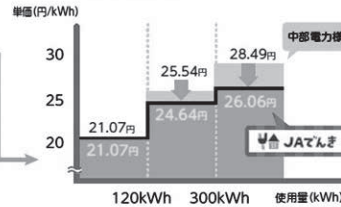
基本料金

契約アンペア数	料金
10A	286.00円
15A	429.00円
20A	572.00円
30A	858.00円
40A	1,144.00円
50A	1,430.00円
60A	1,716.00円

※基本料金・燃料費調整額・再生可能エネルギー発電促進賦課金は中部電力株式会社従量電灯Bと同じ単価です。
 ※料金単価は2019年10月1日現在の価格を適用しています。
 ※繰上り料金はメールで通知、HP上で閲覧可能です。紙での通知の場合は、110円/月(税込)となります。



従量料金単価 (1kWhあたりの料金)



燃料・ホームエネルギー課

生活部 燃料・ホームエネルギー課の取組み

「JAでんき取扱い拡大中です!」

JAでんきは、平成28年度からJAグループ施設への高圧電力供給を、平成30年度から家庭向け低圧電力供給の取扱いを開始しました。本年10月末で全国126JA（子会社・関連会社

含む）にて44、434件の電力供給を行っています。

JA長野県グループでは、令和元年度よりJAでんきの取扱いを開始しました。本年10月時点で、県下7JA（長野八ヶ岳、信州うえだ、(株)あぐりライフ信州諏訪、木曽、大北、あづみ、ながの）、計1,510件のお客様にご契約いただいています。また、今年度中に(株)オートバル佐久浅間とJAグリーン長野の2JAで取扱いを開始する予定です。

昨今報道されているとおり、火力発電に用いる燃料コストが上昇している影響で、電気料金を構成する「燃料費調整額」が高騰し、家計の負担が増えたと感じる方もいらっしゃると思います。このような情勢の中でも、JAでんきは燃料費調整額の電気料金転嫁を最小限に抑え、お安くお使いいただける料金メニューを継続しております。

JAでんきは中部電力ミライズ(株)に比較し、一般的な家庭向けプランの場合、5%程度の電気料金削減が期待で

き、使用量が多いほど、割引率が高くなります。JA電気に切り替えた場合のメリットは、JAでんきホームページにて、毎月の検針票の情報を入力すると簡単に確認していただけます。

申し込み方法も簡単です。お客様は、所定の申込書と検針票、支払方法に関する書類をJAに提出していただくだけで受付が完了します。JA・全農長野および小売り電気事業者である全農エネルギー(株)が、申込内容に基づきJA電気への切り替え手続きを行い、完了次第電力供給となります。

JAでんきは供給体制も万全で、電力会社（中部電力など）の送電線を利用して電気を供給しているため、安定性は確保されています。JAでんきのお客様のみが停電するといったことなく、電気の品質はそのまま安価にご利用いただくことができます。

現在、2023年3月末までにご契約いただいたお客様には「3カ月最大3,000円の値引きキャンペーン」と「ジュースの詰め合わせプレゼント

キャンペーン」を実施中です。ぜひこの機会に電力会社の見直しをご検討ください。

燃料・ホームエネルギー課は、JAでんきのさらなる普及拡大に向けた取り組みを進めていくと共に、石油・LPガスを含めたエネルギーの安定供給に努めて参ります。

JAでんき新規お申込みで3ヶ月間 毎月1,000円(税込)おトクになる
3,000円おトクキャンペーン実施中!

2023年3月末までのJAでんき新規お申込みで
ジュースセットプレゼント!



詳しくはこちらから!

<https://zennoh-energy.co.jp/ja-denki/>



生活課

生活部 生活課の取組み

「長野県米消費拡大運動」生切りもちの推進について

J A長野県グループでは、9月に開催した第6回J A長野県農政対策会議で、長野県産もち米（品種／もちひかり）を100％使用した「生切りもち消費拡大運動」に取り組むことを決定しました。

これに伴い、J A全農長野生活課では今年度も生切りもちを「組織重点品目」として位置づけ、県下23,000箱を目標に10月～12月の期間で

取組みを行っています（令和3年度実績は22,848箱）。

価格は昨年同額の1,490円（税込）、贈答用にも適している化粧箱（1kg×2袋入）でのお届けとなります。

なお、前年までの製造・取扱先の事業撤退により、本年度は新たな取扱先を選定し、包材等も一新するなか、高い評価を頂戴していた従来品にも勝る品質で取り組めます。

生切りもちの特長は

- ①製造先独自製法の「二段杵つき製法」と「急冷製法」によりコシが強く風味豊かなお餅となっています。
- ②ひと切れずつ個包装しているため衛生的です（1袋あたり19個～20個入り）。
- ③もちに切れ目が入っているため、ふつくら焼けるだけでなく、割ることもできます。

年末・年始の焼き餅、お雑煮、おしるこ等はもちろん、普段のお食事でもお手軽に召し上がっていただけます。

この「生切りもち消費拡大運動」は、県内産もち米の生産量が減少した平成26年度～28年度は県内産での商品化が困難となり「国内産」もち米を使用した取り組みとなりましたが、平成29年度以降は「県内産」で再開し、息の長い運動でご購入の方々からも高評価を頂戴しています。

もち米需要は、コロナ禍において全国的に受給緩和状況にありますが、長

野県産は同様の影響を受けつつも、全量県内卸向け出荷と県産指定製品の拡充を進めてきた経過から、全国情勢と比べると堅調に推移しています。

今後も、県内産もち米の需給喚起と消費拡大をはかり、生産者の所得向上や安定生産に繋がるよう、J A長野県グループが一体となつて取り組みを行っていきます。皆さまのご協力をお願いいたします。



1kgの袋が2袋入っています



贈答に適した化粧箱入り

「第44回長野県J-A-SSドライブウェイサービスコンテスト」開催

長野県農協生活事業推進協議会燃料専門部会とJ-A全農長野は10月19日(水)、J-Aグリーン長野小島田給油所で、SS(給油所)スタッフの店頭接客サービススキルアップやカーメンテナンス収益の向上、土気高揚による長野県J-A-SSの活性化などを目的に「第44回長野県J-A-SSドライブウェイサービスコンテスト」を開催しました。



開会挨拶をする長谷川大会委員長

2018年の前回大会開催以降、この3年間は出場者の減少とコロナ禍の影響で開催が見送られてきましたが、関係者のご協力とご理解により4年ぶりに開催することができました。

コンテストは県内各地区から9名が出場し、迎え入れからお送りまでの一連の流れなどを行うフルサービス給油にて、あらかじめ決められた設定条



出場した9名の選手

件や時間などの中、日ごろの店頭での接客サービスや知識、技術を競いました。

各選手とも本日まで励んできた練習の成果を発揮し、素晴らしい笑顔の接客サービスを披露し、レベルの高いコンテストとなりました。

今回のコンテストをとおして、更なるサービス向上をはかり、お客様の満足度を高め信頼されるSS作りに取り組んでいきます。



最優秀賞の前島選手

第44回ドライブウェイサービスコンテスト入賞者 (敬称略)

賞	選手名	所属	
		JA	SS
最優秀賞	前島 大樹	ながの	志賀高原
優秀賞	竹内 成美	大北	アルペンロード 神城
優良賞	村澤 瑠美	みなみ信州	アイロード あなん
優良賞	丸山 藍	大北	アルペンロード 神城
優良賞	柳澤 賢	ながの	アンズロード



大会役員と選手

第75回長野県畜産共進会肉豚の部

J A松本ハイランドの(有)岩垂原エスピーエフ農場が特別優秀賞

J A全農長野は10月19日(水)、(株)長野県食肉公社(松本市)で第75回長野県

畜産共進会肉豚の部を開催しました。県内の養豚農家から生後150日以上



枝肉審査の様子

180日未満の肉豚枝肉15組45頭(雌2頭、去勢1頭/組)が出品され、県畜産試験場長の神田章審査委員長をはじめ5名の審査員が、個体ごとの優秀性や組内の相似性などを厳正に審査しました。

特別優秀賞と県知事賞には、前回に続きJ A松本ハイランドの(有)岩垂原エスピーエフ農場が選ばれました。同農場の枝肉は、雌・去勢ともにモソの厚み、脂肪付着が均一で、全体

の体形が揃っていることが評価されました。

優秀賞には、J A大北の(有)大北アグリサポート白馬アルプス農場とJ Aみなみ信州の(農)SPFこがねや第一の矢澤宏輝さんが選ばれました。

出品された枝肉は、15組すべてが3頭の枝肉重量差がプラスマイナス5kg以内で、雌・去勢とも全体的に斉一性が高く品質も優秀で、養豚農家の飼養管理や出荷適齢期を見極める技術の高さがうかがえました。また、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染防止のため表彰式などを中止し、出品したJ Aの畜産担当者や県家畜保健衛生所の職員などが生産者に代わり現場での枝肉見学を行いました。

畜産を取り巻く環境は、海外から輸入している飼料の原料であるトウモロコシの国際的な競合や、ロシアのウクライナ侵略による穀物価格の高騰、円安や原油高など様々な情勢が起因して、

飼料コストがここ2年で1.5倍ほど増加。この現象は今後も続くと考えられ、県内の養豚農家は生産情勢が不透明な中で生産しています。J Aグループでは生産コストの高騰に伴い、小売店での販売価格に対する理解情勢活動を実施しています。畜産酪農課は、今後も県内で生産される安全で安心なおいしい信州産肉豚の生産基盤を維持し、農家の経営安定とより一層の品質向上、消費拡大に取り組んで参ります。



特別優秀賞にリボンを付ける神田審査委員長

野菜・きのこ・ヨーグルト、一緒に食べて腸活 「秋冬野菜×ヨーグルトでおいしく腸活冬を乗り切る！」

記者発表会と試食会

J A全農長野は10月19日(水)、銀座N AGANO(長野県アンテナシヨップ)で、コロナ禍で注目が集まる「免疫・腸活」をテーマに、長野県産の秋冬野菜やきのこの活用セミナーを行いました。

セミナーは(株)明治、長野県の共催のもと「秋冬野菜×ヨーグルト」でおいし



セミナーで説明したアイテム

く腸活冬を乗り切る！」と題し、コロナ禍における免疫力向上をテーマとして長野県野菜の付加価値訴求を目的に、腸内環境を整える「腸活レシピ」を提案しました。全国紙をはじめ、県内外のテレビ各社、業界紙、インフルエンサーなど20を超えるメディア取材もあり、発信力のあるものとなりました。

セミナーは2部制で行われ、第1部では、資材費・電気代を皮切りに生産価格が上昇する一方で、そのコスト分が販売価格に転嫁されにくい農業業界の現状を説明し、一般消費者にも実情理解を求めました。また、(株)明治からは最新の研究として、乳酸菌が生み出す成分「ヨーグルトEPS」が野菜の栄養成分「カロテノイド」の吸収を促進する作用があることを解説。現在、商品化に取り組んでいるとしたうえで、野菜の新たな食べ方としてヨーグルトを用いることで健康を後押しする可能

性を示しました。

第2部では、腸活講師として田和璃佳さん(日本美腸メソッズ協会代表理事)が登場し、長野県野菜とヨーグルトを使用した腸活レシピ4品の発表・試食会を実施しました。



20を超えるメディアが取材

長野野菜を
たっぷり使った

腸活サラダ

材料(2人分)

白菜……………100g
セルリー……………20g
ズッキーニ……………30g
ニンジン……………30g
ブロッコリー……………30g
リンゴ……………1/4個
プチトマト……………4個
干しブドウ……………少々

【ドレッシング】
塩麹……………大1
ヨーグルト(液状)……………大3
リンゴ酢……………大2
きび糖……………小1
オリーブオイル……………小1
バジル……………少々



田和さんは腸内細菌が病気やアレルギーと密接な関係にあるとし、現代人の腸内細菌数が戦前の1/3まで激減していると指摘。「腸内細菌は減らないで、キープすることが大事。きのこ菌やリンゴのリコピン、納豆菌や乳酸菌などの有益な菌とそのエサになる食物繊維を多く含む野菜を日常的に摂取していきましょう」と話しました。

第32回テレビ信州「キッズRUN!!2022」

未来のアスリートを信州ポーク・信州産牛乳・長野米で応援

JA全農長野畜産酪農課と米穀課は10月23日(日)、長野運動公園陸上競技場で開催された「第32回テレビ信州キッズRUN!!2022」に協賛し、副賞

と参加賞を提供しました。

この大会は「子どもたちに全県規模の大会への出場をきっかけに、将来アスリートとして活躍してもらいたい」という思いの下、県

内各地から約700名の小学生が集まり、

熱戦が繰り広げられました。競技は1・2年生の学年別男女混合60m走、3・4年生の男女別400mリレー、5・6年生の男女別100m、1000m走が行われました。

競技が終了した子どもたちに畜産酪農課の職員が「農協牛乳」を手渡すと、

「牛乳大好き」と嬉しそうに受け取りました。

また、1・2年生の部に特別協賛し、副賞として1・3位の

入賞者に「信州プレミアム牛肉・信州ポークのすき焼き・しゃぶしゃぶセット」、4・8位の入賞者に「パールの煌めき(長野米)」と信州プレミアム

牛肉ビーフカレー・ビーフシチューを贈呈しました。天候が心配されましたが、子どもたちの活躍を応援するように競技開始と同時に青空が広がりました。また、大会の様子は、11月19日(土)にテレビ信州で放送されました。

今後も畜産酪農課と米穀課は、信州の農畜産物に生産者の思いをのせて信州産ブランドをPRし、消費拡大に努めてまいります。



子どもたちに牛乳を配布する畜産酪農課の職員



目録を授与する畜産酪農部の井出和士部長



大会のスペシャルゲストで北京オリンピック銀メダリストの塚原直貴さんにも牛乳の消費拡大PRにご協力いただきました

量販向け コギク出荷反省会を開催

J A全農長野果実花き課は、11月1日(火)に生産振興に取り組んでいる量販向けコギクの出荷反省会を開催しました。会議にはJ A担当者のほか、主要な出荷先となる卸売会社の代表者など18名が出席し、本年度の生産販売における課題の確認と、次年度の生産販売対策と生産拡大策を協議しました。

本年は、生産振興による生産者の拡大と、栽培技術の向上により、旧盆前には年間生産量の8割にあたる169万本の出荷を達成しました。一方で、

6月下旬からの高温の影響により開花期が遅れたことで、旧盆明けに出荷物が残ってしまうなどの課題も生じました。



コギクの圃場

担当者からは、本県のコギクへの旧盆需要の高まりから、更なる生産拡大が要望されたほか、生産費上昇に対応した取引価格の引き上げについて理解も得られました。会議では、コギクを生産振興と販売に県内のJ Aが連携して取り組むことが確認され、生産拡大への取り組み事例の紹介とコギク生産の振興策を共有しました。

J R北新地駅地下道で、 初の農産物即売会

J A全農長野大阪販売事務所は10月27日(木)、長野県大阪事務所と連携しJ R北新地駅地下道で、信州産農産物等の即売会を実施しました(Ⅱ表紙右下)。県は、新品種のクイーンルージュ®の試食アンケートと長野県産の加工品や牛乳パン、おやき、くるみ菓子などを販売。当事務所は仲卸と長野県農にご協力いただき、ぶどう(クイーンルージュ®、シャインマスカット)、リンゴ(シナノスイート)、きのことセットに加え、りんごジュースやなめ苺等の加工品を販売しました。



購入するお客様の列

クイーンルージュ®の試食アンケートは、シャインマスカットと比較をしながら食味や認知度などを集約しました。まだクイーンルージュ®を知らない方も多く見られましたが、試食は「甘い」「美味しい」と好評でした。

即売会は、帰宅する利用者を見込み午後4時から始めましたが、事前告知もあり販売開始前には長蛇の列となつて大いに賑わい、用意した商品は完売となりました。

今回の会場は、大阪駅と北新地駅をつなぐ商業オフィスビルの地下道スペースで、即売会としては初の実施となりました。切れ間の無い人の往来に、今後も有効な販促会場と成りうる可能性を感じました。

大阪販売事務所は今後も、販促などの企画を行い長野県農畜産物のPR・消費拡大に取り組んでまいります。



アンケートに記入するお客様

県内の大学生協で2回目の 食育ランチ

J A全農長野生産販売部は10月25日(火)～28日(金)の4日間、長野県内の大学4校9カ所の生協食堂で、県産農産物を使用した食育ランチを提供しました。7月に続いて2回目となり、メニューは長野県生活協同組合連合会、信州大学生生活協同組合、信州ハム(株)と協働し、「風さやか新米」「白菜とぶなしめじのクリームシチュー」「白菜とぶなしめじの中華



提供した農産物で調理されたメニュー

丼／餡かけラーメン」「リンゴ2種(シナノスイート、シナノゴールド)食べ比べ」を提供しました。今回は諸事情により、単品での提供になりましたが、4日間で約4,000食を販売しました。

また、8カ所の生協食堂には「花き(アルストロメリア)」を展示しました。コロナ禍以降、久しぶりの生花の展示は、学生や従業員から注目を集めました。

販売流通企画課では、今後も総合品目での食育・花育活動を進めて参ります。



食堂に展示したアルストロメリア

農林水産祭「実りのフェスティバル」 で長野県産農産物をPR

長野県とJ A長野県などで構成する「おいしい信州ふーど」キャンペーンは、11月11日(金)と12日(土)の両日、サンシャインシティ(東京・池袋)で開催された第61回農林水産祭「実りのフェスティバル」に出展し、リンゴ、ブドウ、きのこを販売しました(Ⅱ表紙左下)。

長野県ブースでは、今年本格デビューしたナガノパープル、シャインマスカット、クイーンルージュ®の「ぶどう三姉妹®」、秋映、シナノスイート、シナノゴールドの「りんご三兄弟®」(秋映は展示のみ)、きのこは出荷量が限定的な茶えのき、バイリングを販売し、11月11日の「長野県きのこの日」に合



わせて、えのきたけとぶなしめじをPRしました。

コロナ禍のため試食の提供は控えたものの、イベントならではの賑やかさで来場者は楽しそうに商品を選んでいました。中でもクイーンルージュ®は「テレビで見た」というお客様が多く、注目を集めました。

このイベントは例年、皇室の御視察があり、今年対象となった長野県ブースへ秋篠宮皇嗣同妃殿下がおいでになりました。長野県の小林安男農政部長が「ぶどう三姉妹®」と「りんご三兄弟®」を説明すると、秋篠宮殿下は「ブドウは3種類とも皮ごと食べられるのですか」「リンゴはどれが一番先にでるのですか」と質問され、小林農政部長がブドウは種が無く皮ごと食べられること、リンゴは三兄弟の中では秋映が最初で、長野県では品種リレーをしながら8月から12月まで出荷されることを説明しました。



農家が信州の清冽な自然の中で真摯に作った農畜産物は、健康的で皆に愛されるものでありたい。この思いをどうやってアピールし、信州産農畜産物のブランディングにつなげていったら良いのだろうか、と頭を痛めていた時期でした。

2010 年 2 月

「長野県出身のスケート選手が、バンクーバーオリンピックで銀メダルを獲得！」

そんな時期の我々に飛び込んできたニュースでした。

『銀メダル獲得』という成績と話題もさることながら、テレビに映し出された新鮮で明るい笑顔、誠実な受け答え。

「彼女じゃない？」

「うん！彼女ですね！」

「どうすれば彼女にお願いできるのだろう」

様々な伝手を頼り、多くの皆さんのご厚意によって小平奈緒選手という茅野市出身のアスリートが信州産農畜産物のイメージキャラクターに起用されました。それ以来、テレビやラジオ CM、看板などへの登場を通じて信州産農畜産物の PR とイメージアップにご協力いただきました。

同時に、

「小平奈緒は、『信州』を食べて育ちました。」

そのキャッチコピーのとおり、練習やレースと忙しい中にも関わらず、私たちがお届けした信州産の食材で作ったお料理を、小平さん自身が SNS にたくさんあげてくださいました。その度に、フォロワーの皆さんからの「おいしそう」「食べたい」のコメントがあふれ、小平さんは私たちの期待以上に信州の農畜産物を育ててくださいました。

オリンピックの金メダル獲得をはじめ、これまでの国内外のレースで見せる『強いアスリート』としての小平選手の一面と、ラストレースでリングに乗せて小平さんのやさしさが会場の皆さんに届けられたあの一面、やはりあの 2010 年の閃きは間違っていないでした。

小平奈緒さん、これまでありがとうございました。また彼女の起用にお力添えをいただいた全ての皆様、ありがとうございました。改めて、これからもよろしくお願いします。

小平奈緒さんに応援していただいた「信州産」はまた、いつまでも小平奈緒さんを応援いたします。



2010 年 7 月 29 日撮影

JA全農長野の事業現況▶

令和4年度10月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		17	—	—
野菜種苗センター		119	91	89
生産振興部計		136	104	101
米	穀	9,512	86	92
果実花き		33,130	101	110
野菜きのこ		55,060	85	97
営業		9,829	85	99
生産販売部計		107,530	89	101
包装資材		5,322	96	106
生産資材		6,564	126	120
農業機械		3,834	92	95
施設住宅		4,186	102	160
生産購買部計		19,906	105	116
畜産酪農		17,869	99	96
三岳牧場		163	109	115
SPF繁殖センター		177	99	101
八ヶ岳牧場		120	78	83
畜産酪農部計		18,329	99	96
燃料・ホームエネルギー		14,662	103	105
S S 協同経営		4,382	107	109
生活		5,184	102	98
生活部計		24,228	104	104
長野県本部計		170,122	94	102

(内部販売高含む)

12月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
12/28(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶり内 「暮らしの応援団」	畜産酪農課

今月のおすすめレシピ

プラス・オンでもっと健康に!きのこキャンペーン
~タイアップ企画 第3弾 ミツカン~

きのこたっぷりとろとろ鍋



■材料(4人分)

- ・ぶなしめじ……2パック(200g)
- ・えのきたけ……1パック(100g)
- ・エリンギ……1パック(100g)
- ・なめこ……1袋
- ・白菜……1/8株(300g)
- ・白ねぎ……2本
- ・鶏もも肉……1枚
- ・長いも……10cm
- ★ミツカンまで美味しい™
- 焼あごだし鍋つゆストレート……1袋

■作り方

- ①ぶなしめじ、えのきたけは石づきを取り、小房に分ける。エリンギは縦に4等分にする。
なめこは軽く流水で洗う。
- ②白菜はザク切りに、白ねぎは斜め切りにする。鶏もも肉は食べやすい大きさに切る。
- ③鍋に「焼あごだし鍋つゆストレート」を入れ、火にかける。
煮立ったら①を入れ、具材に火を通す。

ワンポイント
アドバイス

すりおろした長いもを入れても
美味しくいただけます。
なめこでとろとろになったスープが絶品です。

グリーンレーダーの ツイッターを始めました

JA全農長野
【公式】グリーンレーダー

@ja_greenradar



編集後記

12月を迎え、令和4年も終わりが近づいてきました。年を重ねる度に、1年が早く感じられますが、12月は特にそのことを実感する月でもあります。1年を振り返った時にやりたかったことを全てやりきったと思えるのが理想ですが、そう思える1年を過ごせた人は多くないのではないのでしょうか。実際に私も今年できなかったことばかりを思い浮かべてしまいます。そんな後悔を感じながらもしっかりと1年を締めくくりたいと思います。

さて、今年も新型コロナウイルスの影響が強い1年でした。11月には第8波に入り、引き続き気を緩めることなく感染防止対策を徹底してまいります。

来年こそは、コロナの影響により長く続いたどんよりした雰囲気がなくなり、少しでも皆さんが明るく元気に過ごせる1年になることを願っています。

(T)



小平奈緒は、 「信州」を食べて 育ちました。

スピードスケート
小平奈緒 選手
所属：相澤病院（松本市）



光と風と水のハーモニー
JA全農長野



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

